



2025年度 資金分配団体公募 〈通常枠第2回〉〈緊急枠第2次〉

公募説明会
2025年10月10日

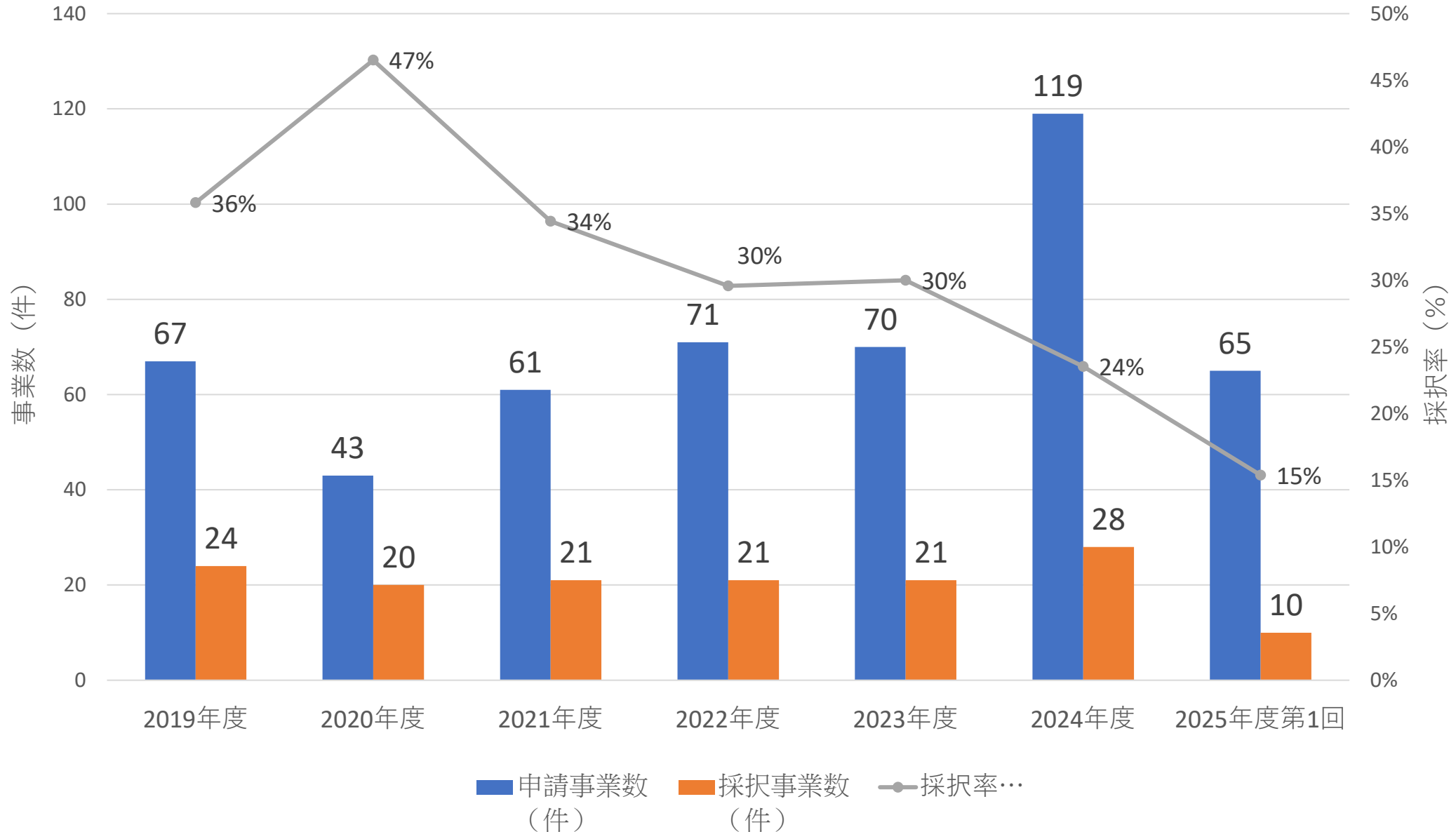
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
助成事業部長 内田淳



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

2025年度通常枠第1回 申請・採択状況



●選定基準(公募要領p20(通常枠))

ガバナンス・コンプライアンス	包括的支援プログラムに示す事業を公正かつ適確に遂行できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われているか、また、解決したい社会課題に対して事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

●審査のポイント:10月2日付プレスリリースに記載([press_20251002_01.pdf](#))



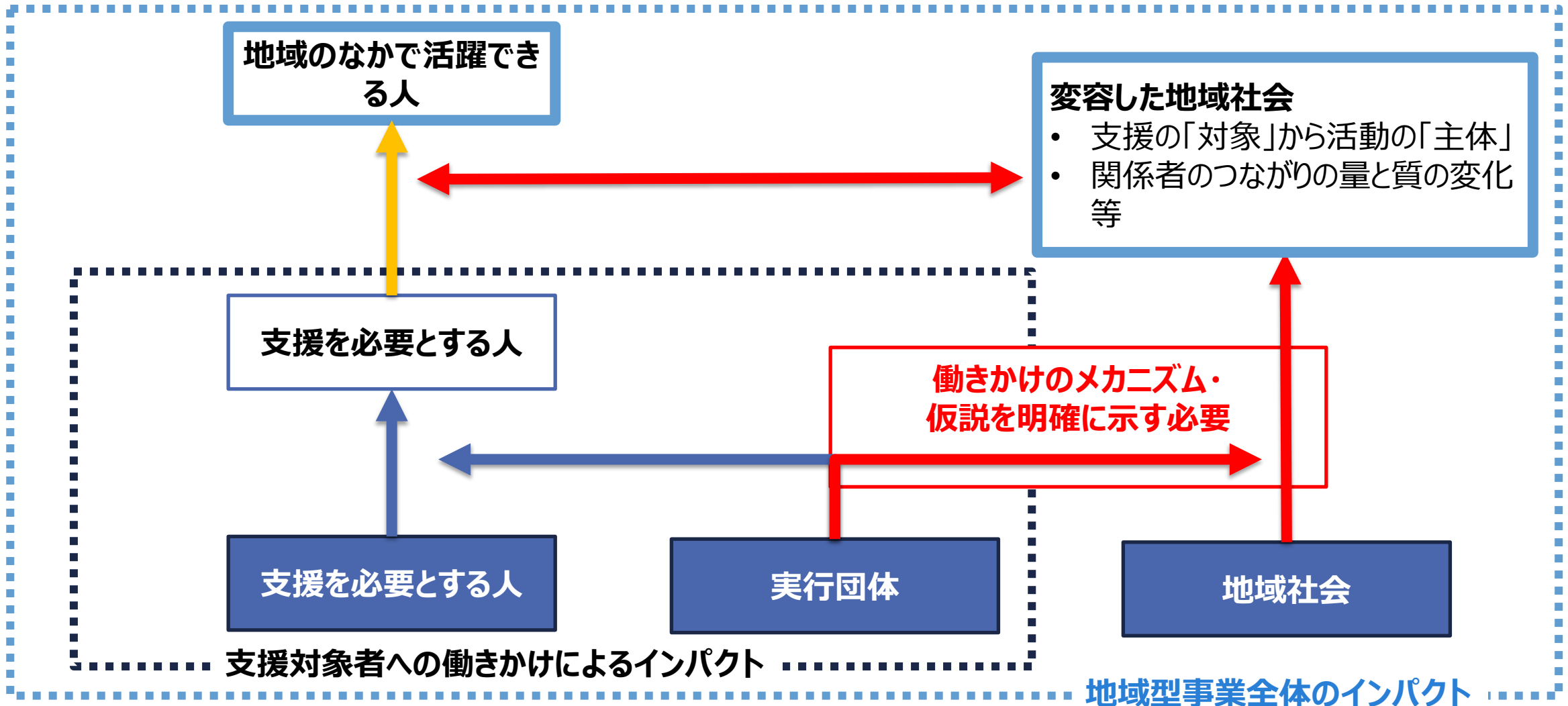
- ① 事業対象となる社会課題や対象分野・地域で活動するアクター、関連する制度・行政の現状・課題が事前のリサーチなどにより具体的に把握されている点
- ② 社会課題の解決に向けた事業のロジック(こういう課題に対して、現場の実情を踏まえると、こういう打ち手が有効であると考えられる、その結果がこういうように課題解決につながる…といったシナリオ)が十分に検討されて示されている点
- ③ 資金分配団体自身が有する、事業対象領域の専門性や、人的ネットワーク、伴走支援における実績や支援の専門性等を活かした事業内容となっている点
- ④ 事業終了後のその先を見据えて、助成先の実行団体の活動の出口戦略(資金面、人的資本、事業継続性等)が明確に意識され、行政や他の関連機関との連携なども含めて具体的に計画されている点
- ⑤ 実行団体以外にも波及効果が期待される事業となっている点(他地域への展開が事業アプローチに組み込まれている、成果発信が計画に位置付けられている等)

- ① 取り組む事業内容が休眠預金活用事業の趣旨に合致していない(「優先的に解決すべき社会の諸課題」(3領域8項目)への合致度が低い、行政や民間企業により既に取り組まれているなど)
- ② 実行団体が本制度を活用して新たに取り組もうとする事業に対し、資金支援・非資金的支援を一体的に行うような事業設定となっていない。
(資金分配団体の事業をフランチャイズ的に広げる計画のような、実行団体による創意工夫の余地が少なくなる事業設計としているケースや、資金分配団体が従前より行っている営利事業の拡大に助成金を活用するような誤解を与えかねない内容となっているケースあり)
- ③ 1事業あたりの申請額の目安(草の根活動支援:1億円、ソーシャルビジネス形成支援、イノベーション企画支援、災害支援:2億)を大幅に超過しているが、その理由について明確な説明がない(公募要領に申請額の目安を超過する場合にはその理由を事業計画書補足資料に記載するとの明示あり)

- ④ 過去に休眠預金活用事業を実施した団体による申請事業において、**過年度事業からの発展性や申請事業終了後の出口戦略(資金面、人的資本、事業継続性等)**が明確に示されていないケース。
これまでに休眠預金活用事業での採択の実績がない、新たに申請をいただいた団体からの申請事業においても出口戦略が曖昧、または明確に示されていないケース。
- ⑤ **事業実施体制(要員体制、カバナンス・コンプライアンス体制)**が助成規模に見合ったものとなっていないと判断されるケース

草の根活動支援事業(地域枠)に着目し、
より詳細に審査ポイントをご説明

支援対象者への働きかけだけでなく、地域社会への働きかけにより支援対象者を含めた地域社会全体の変容を目指している申請も多い。その場合、働きかけのメカニズム・仮説を明確に示すことが必要ではないか。



● 評価された事業の特徴

- ① 課題の設定・解像度が高い
- ② 地域内のネットワークを保有
- ③ 事業内容・計画が具体的
- ④ 出口戦略が明確に意識されている
- ⑤ 地域内ネットワークの強化策など強みを活かしたアプローチが明確なケースも

● 評価されなかった点およびその対応案

対象・スコープが不明確	支援対象者（顕在層・潜在層）の状況、実行団体・連携先候補等の地域内のアクターについて、日常的な事業の積み重ねや事前の調査でしっかりと情報収集、分析することが重要
事業計画が具体的でない	地域の団体及びネットワークにどのような変化を起こし、終了後も維持発展させていくか。ToCなどを活用してイメージを具体化することも一案（事業範囲の絞り込みを行えばよい、というものでもない） 分野に特化せず地域全体で取り組む事業にはネットワークづくりなど事業推進アプローチ（コンセプト）を明確にするのも一案
連携・協働の計画が不十分	地域内のネットワークを事業期間中にどう強化し、終了後にいかに維持発展させていくかを検討
出口戦略・継続性が不明確	助成期間終了以降にどのような状態を目指すのかを明確に（政策提言・行政連携・委託事業獲得、地域企業からの寄付・寄贈・協業、地域内の他団体との連携、ファンドレイジングの具体的方策等）
伴走支援内容が不明確	自団体の強みを活かした非資金的支援方法を具体的に検討。評価実施の支援など自団体で専門性が不足する場合にはコンソーシアムの組成や業務委託等による補強も一案
実施体制に不安が残る	助成事業経験が十分でない場合、実行団体数を絞ることも検討いただきたい

- 申請:6事業、採択:2事業
- 「集中的・即応的な支援が必要な課題に取り組む事業であることや迅速な支援の拡大が期待できる実効性の高い事業であることなどが評価」([9月2日付プレスリリース](#))
- 助成対象事業の例(緊急枠第2次公募要領p5。下線部を第1次から追記)

・物価高騰、新型感染症の流行など急激な社会情勢の変化により生じた新たな支援ニーズに対する集中的・即応的支援で、事業期間 1 年間以内での確実な支援の実現が見込まれる事業 (新たな感染症の大流行に対応した衛生対策、住居喪失者へのシェルター提供、行政の支援の狭間に陥りがちな孤立傾向が高まる方への支援等)

・地震や豪雨などの激甚災害の発生に対応した緊急支援 (緊急期~復旧・復興期に向けた行政の支援が及ばない事業領域での緊急的な支援活動など)

・制度改正などの急な状況の変化により、集中的・即応的な対応が必要な事業であり、事業期間 1 年間以内での確実な支援の実現が見込まれる事業 (例:居場所支援制度の中止に伴う暫定受入れ施設の開設など)

休眠預金活用事業制度の趣旨、資金分配団体の役割等



休眠預金活用事業制度の趣旨、資金分配団体の役割等につきましては、この後の説明の他、2025年度通常枠第1回、緊急枠第1次に向けた公募説明会などを是非ご確認ください。

- 〈通常枠第1回・緊急枠第1次〉（2025年5月9日オンライン開催）

「[公募説明会①～公募要領のポイントについて～](#)」

- 〈通常枠第1回・緊急枠第1次〉（2025年5月20日オンライン開催）

「[公募説明会②～申請書類の書き方・記入上の注意点について～](#)」

※資金分配団体の具体的な活動イメージをお知りになりたい場合は、以下のトークセッションをご参照ください。

（過年度分のため公募要領は最新版をご確認ください。）

- 「[資金分配団体からのメッセージ](#)」（2024年7月版）

- 「[2023年度 公募説明会トークセッション](#)」（2023年4月28日ハイブリット開催）



以下HPもご参照ください



JANPIA HP

<https://www.janpia.or.jp/>

The screenshot shows the JANPIA homepage with a navigation bar at the top containing 'JANPIAについて', '休眠預金活用事業(助成・出資)', 'JANPIAの取り組み', 'English', and 'お問い合わせ'. The main content area features an illustration of diverse people and the text: '誰ひとり取り残さない 持続可能な社会作りへの触媒に。'. Below this is a 'JANPIAのお知らせ' section with two news items: '2024年12月25日 年末年始の休業について' and '2024年11月29日 2024年度 運営費(第2回) 資金分配団体の公募申請状況について'. To the right, there is a '休眠預金活用プラットフォームのお知らせ' section with two items: '2024年12月4日 2024年度 出資事業の公募説明会の動画を公開' and '2024年11月19日 2024年度 資金分配団体(出資)の公募実施について'.

休眠預金活用プラットフォーム

<https://www.kyuplat.com/>

The screenshot shows the Kyuplat platform homepage. The navigation bar includes '休眠システム', 'マイページ', and 'ログイン'. The main heading is 'より良い社会をつくる 共創プラットフォーム'. A central article dated '2024年12月9日' discusses '経済的困難を抱える子どもの選択肢を広げる。『チョイふる』が取り組む、子どもたちの居場所づくり'. Below the article are navigation buttons for '詳しく読む' and 'ニュース一覧'. At the bottom, there are four service icons: '公募・申請', '学習・研修', '休眠預金活用とは', and 'よくある質問・問い合わせ'.

休眠預金活用事業情報公開サイト

<https://johokoukai.janpia.or.jp/>

The screenshot shows the JOHOKOUKAI information site. The navigation bar includes 'ホーム', '団体から探す', '事業から探す', '社会課題から探す', 'お知らせ', and '使い方ガイド Q&A'. The main heading is '休眠預金を、社会のために。'. Below this is a description: '「休眠預金活用事業 情報公開サイト」は 休眠預金を活用した事業や団体の情報を公開し、その情報を検索できる 休眠預金活用事業の情報公開・情報検索サイトです。'. There are three search filters: '団体から探す', '事業から探す', and '社会課題から探す'. At the bottom, there is a search bar with the text 'キーワードを入力してください' and a '検索' button.



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構